



鏡野町における 保健・教育・福祉の協働による発達支援体制作りについて

- 1) はじめに
- 2) 町内の保健・教育・福祉の横断プロジェクト
 - ・ 発達支援コーディネーターの常勤雇用までのプロセス
 - ・ 就学前後の移行期の取り組み
- 3) 今後の課題

鏡野町役場 保健福祉課

三上 仁志（公認心理師・臨床心理士）

* 発達支援コーディネーター



「岡山県」の特性 と 『鏡野町』

| | 特徴 | おかやまの場合 |
|-------|---------------------------------|---------|
| 政令市 | 人口50万人以上 20市 (国内人口の21.6%) | 岡山市 |
| 中核市 | 人口30万以上 84市 (自治体の4.8%) | 倉敷市 |
| 小規模市 | 人口20万人未満 | 13市 |
| 小規模町村 | 人口3万人未満 (自治体の約50%) | 12町村 |

| |
|--------------|
| 鏡野町 |
| 人口：約13,000人 |
| 年間出生：約100人 |
| 保・幼・こ：8園(町立) |
| 小学校：8校 |
| 中学校：1校 |

厚生労働科学研究費補助金

平成25年度～平成27年度発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援の実施と評価

(研究代表：本田秀夫) 地域特性に応じた課題の抽出と提言

2) 町内の保健・教育・福祉の横断プロジェクト

鏡野町発達支援担当者連絡調整会議



<目的>

- ①町内の発達支援ニーズの把握と対応策の検討
- ②他課の担当同士が顔を合わせて交流を図る機会

<メンバー>

- 保健福祉課 : 障害福祉担当（事務）、保健師、発達支援Co
- 学校教育課 : 特別支援担当（指導主事）、保育園担当、町SSW

町内の保健、子育て、教育、福祉の各課の担当者による部局横断の検討組織

⇒ 町内の発達支援システムに関するPDCAの進捗管理

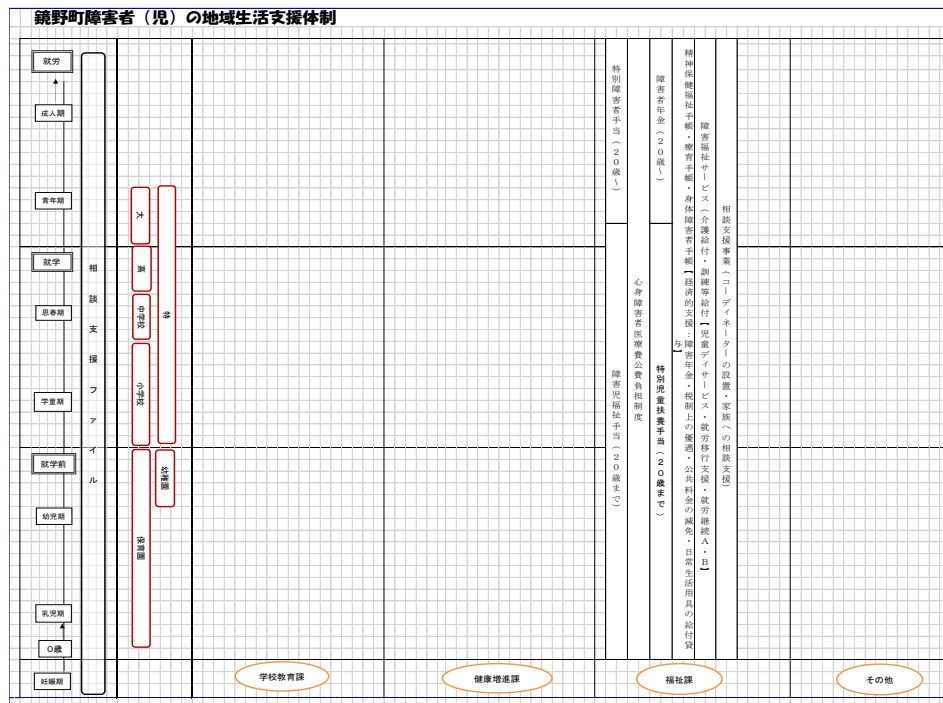
鏡野町発達支援担当者連絡調整会議の協議内容

2009（平成21）年度

早期支援を担う人材育成・支援技術向上のための取組みを開始

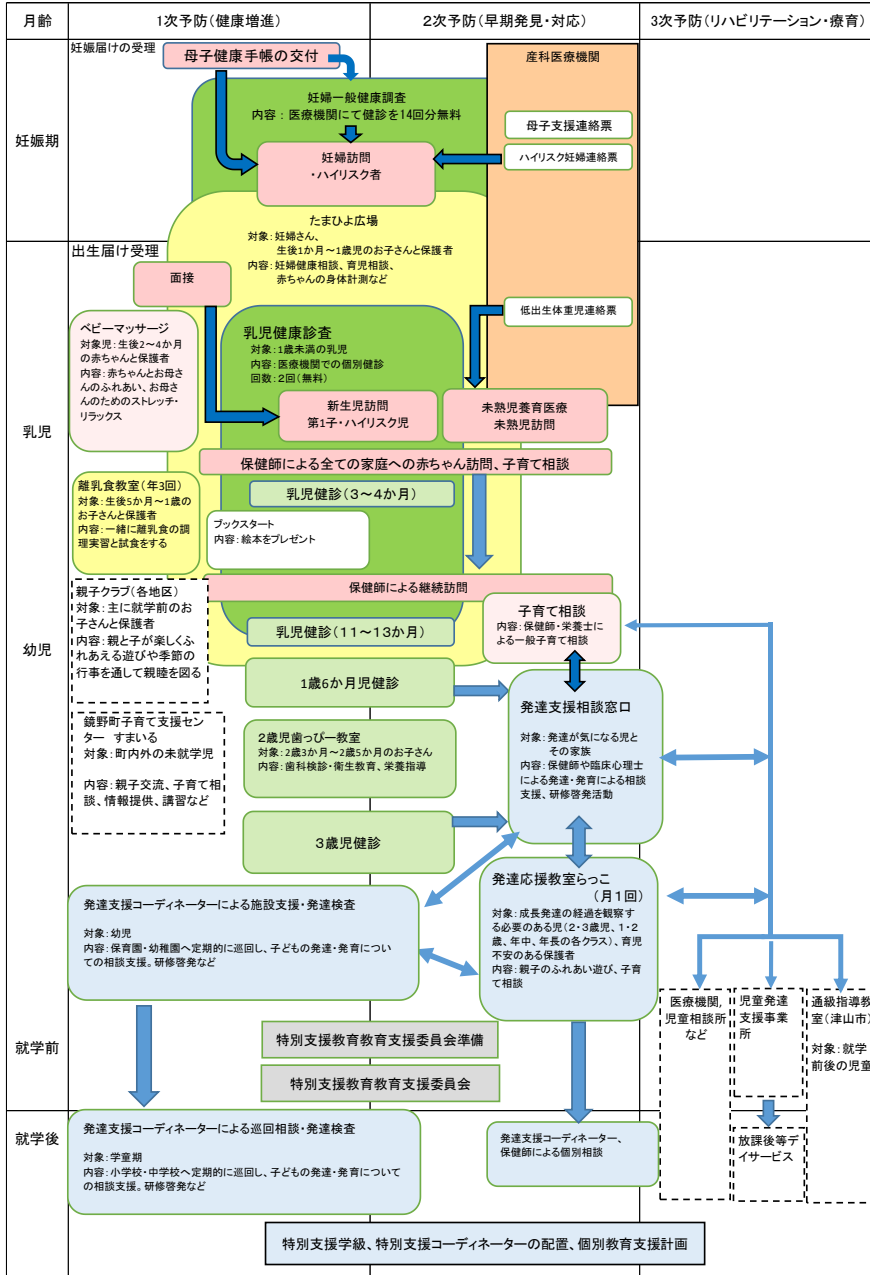
* 岡山県・おokayama発達障害者支援センターの市町村支援体制サポート事業を活用

- ・ 園への心理専門職・保健師による巡回訪問のあり方を検討
- ・ 保健・教育・福祉の担当者と集い、町内の事業一覧や関係図の作成



現在の母子保健・子育て支援システム図

鏡野町 母子保健・子育て支援システム図



発達支援コーディネーターの常勤雇用までのプロセス

2010（平成22）年　：市町村Co配置のための協議を開始

2011（平成23）年　：10月に、発達支援相談窓口を設置（発達支援Coを常駐配置）

2012（平成24）年～：Coを中心に、町内の発達支援課題の協議　（月1回）

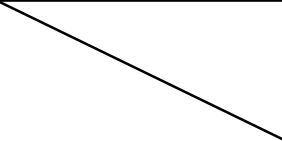
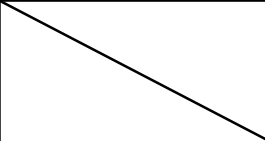
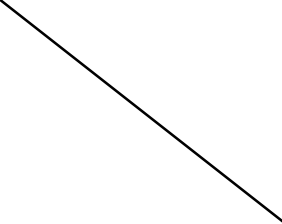
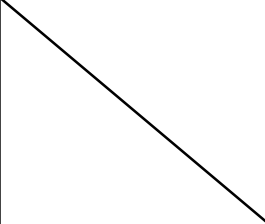
2011（平成23）～2013（平成25）年度

「鏡野町発達障害者支援体制整備事業」を近隣市町村の社会福祉法人へ委託して実施

* 岡山県市町村支援体制整備事業（ 県より1/2補助 3年間）

Q-SACCS岡山版を活用した発達支援システムのPDCA

参考：厚生労働科学研究費補助金「発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援の実施と評価」（研究代表：本田秀夫 信州大学）

| <市町村名 鏡野町> <人口： 1.3万人> <年間出生：100人> | 0～3歳 | 継時的インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H | 4～6歳 | 継時的インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H | 7～15歳 |
|--|---|---|--|---|---|
| レベルⅠ (毎日) 日常生活水準 | <input type="checkbox"/> 乳幼児健診 <input type="checkbox"/> 保育園 (6) | <div style="text-align: center;">  </div> | <input type="checkbox"/> 幼稚園 (2) <input type="checkbox"/> 保育園 (6) | <div style="text-align: center;">  </div> | 小学校 (8) 中学校 (1) |
| 共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H | <input type="checkbox"/> 親子教室 <input type="checkbox"/> 施設支援 (年3回) <input type="checkbox"/> 総合相談 | | 保健師、保育士、 保護者 | | <input type="checkbox"/> 親子教室 <input type="checkbox"/> 施設支援 (年3回) <input type="checkbox"/> 総合相談 |
| レベルⅡ (定期的) 専門療育的支援 | <input type="checkbox"/> 児童発達支援 <input type="checkbox"/> 通級指導教室 | 保健師、保育士、 保護者 | <input type="checkbox"/> 児童発達支援 <input type="checkbox"/> 通級指導教室 | 保健師、保育士、 保護者 <input type="checkbox"/> 就学指導委員会 | 支援学級 <input type="checkbox"/> 通級指導教室 <input type="checkbox"/> 放課後デイサービス (多数) |
| 共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H | <input type="checkbox"/> 保健師、保育士 <input type="checkbox"/> 児童相談所 | <div style="text-align: center;">  </div> | <input type="checkbox"/> 保健師、保育士 <input type="checkbox"/> 児童相談所 | <div style="text-align: center;">  </div> | <input type="checkbox"/> 児童相談所 |
| レベルⅢ 医療的支援 | 病院 <市内1・市外4> | | ……継続…… | | 病院 <市内1・市外4 > |

課題；事業委託による支援体制

- ①相談の場が少ない、十分な頻度で園への巡回訪問ができない
(小中学校への巡回訪問は未実施)
- ②支援のつなぎ（インターフェイス）が難しい
＝ 発達の見立てができる専門家がない



改善策；発達支援の専門家が役場に常駐できる体制作り

- ①相談できる場を増やす
- ②園への巡回訪問の頻度を増やす
- ③支援機関へのつなぎを丁寧に行えるようにする

2014（平成26）～2017（平成29）年度

「鏡野町発達障害者支援体制整備事業」を継続実施（社会福祉法人へ委託）

* 県の補助事業終了した後は、**単町事業**にて実施

- ・ 発達支援コーディネーター常駐により、身近な場所での相談や支援が継続的に行える
- ・ 補助事業により整備してきた支援体制（巡回訪問など）を継続する

2018（平成30）年度～ 現在

町の常勤職員として発達支援コーディネーターを採用し、発達支援体制を充実

- ・ 長期にわたり安定した支援体制が確保できる
- ・ 町役場内の関係部署・支援機関との連携がより密に行える
- ・ 事業委託による発達支援コーディネーターの中途変更を回避する

鏡野町 発達支援コーディネーターの業務



◆CoがレベルⅠ～レベルⅢの相談機能を担う

- ・親子と早期から継続的に関わることができる
- ・親子教室や心理検査による療育的支援
- ・医療機関や療育機関と連携したチーム支援

◆インターフェイスに携わる

- ・医療機関や療育機関へのつなぎ
- ・インターフェイスの体制整備
- ・ライフステージが変わっても継続支援

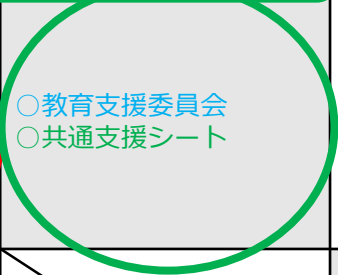
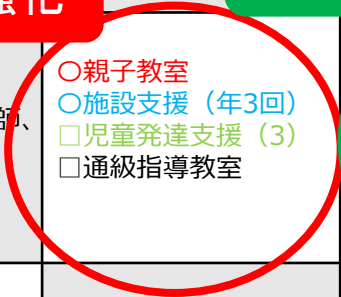
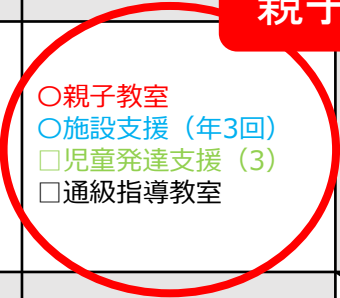
◆鏡野町の発達支援体制の整備

- ・鏡野町の保健・教育・福祉の横断プロジェクトの事務局機能
- ・事例から町内の発達支援課題を分析し、改善策を考える

| <市町村名 鏡野町> <人口： 1.3万人> <年間出生：100人> | 0～3歳 | 継時的インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H | 4～6歳 | 継時的インターフェイス (引き継ぎ) 5W1H | 7～15歳 |
|--|---|------------------------------------|---|--|--|
| レベルⅠ (毎日) 日常生活水準 | 乳幼児健診 <input type="checkbox"/> 保育園 (4) <input type="checkbox"/> 認定こども園 (2) | 専門職 (保育士、保健師、 心理士、SSWなど) 保護者 | <input type="checkbox"/> 幼稚園 (1) <input type="checkbox"/> 保育園 (4) <input type="checkbox"/> 認定こども園 (2) | 専門職 (保育士、保健師、 心理士、SSW など) 保護者 <input type="checkbox"/> 共通支援シート | 小学校 (8) 中学校 (1) 放課後児童クラブ |
| 共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H | <input type="checkbox"/> 子育て相談 (保健師、 心理士、SSWなど) <input type="checkbox"/> 心理検査の実施 <input type="checkbox"/> こころとからだの総 合相談 | | <input type="checkbox"/> 子育て相談 (保健師、 心理士、SSWなど) <input type="checkbox"/> 心理検査の実施 <input type="checkbox"/> こころとからだの総 合相談 | | <input type="checkbox"/> 発達支援相談 (教師、 保健師、学童スタッフ、 心理士、SSWなど) <input type="checkbox"/> 心理検査の実施 |
| レベルⅡ (定期的) 専門療育的支援 | <input checked="" type="checkbox"/> 親子教室 <input checked="" type="checkbox"/> 施設支援 (年3回) <input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援 (3) <input type="checkbox"/> 通級指導教室 | 専門職 (保育士、保健師、 心理士、SSWなど) | <input checked="" type="checkbox"/> 親子教室 <input checked="" type="checkbox"/> 施設支援 (年3回) <input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援 (3) <input type="checkbox"/> 通級指導教室 | <input checked="" type="checkbox"/> 教育支援委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 共通支援シート | <input checked="" type="checkbox"/> 巡回相談 (随時) 支援学級 <input type="checkbox"/> 通級指導教室 <input type="checkbox"/> 放課後デイサービス (多数) |
| 共時的 インターフェイス (情報共有、紹介等) 5W1H | <input type="checkbox"/> 専門職 (保健師、保育 士、心理士、SSWなど) <input type="checkbox"/> 児童相談所 | ……継続…… | <input type="checkbox"/> 専門職 (保健師、保育 士、心理士、SSWなど) <input type="checkbox"/> 児童相談所 | ……継続…… | <input type="checkbox"/> 専門職 (保健師、心 理士、SSWなど) <input type="checkbox"/> 児童相談所 |
| レベルⅢ 医療的支援 | 病院 <市内1・市外4> | | 病院 <市内1・市外4 > | | 病院 <市内1・市外4> |

親子教室の機能強化

就学前後の明確化



鏡野町発達支援担当者連絡調整会議の協議内容

2013（平成25）年　：鏡野町で共通の教育支援計画の様式を作成

2014（平成26）年～2016（平成28）年

岡山県発達障害のある人へのトータルライフ支援プロジェクトを活用して、

町内の多職種連携のための共通フォーマットを作成し、

就学前後の引継ぎ体制の構築（モデル地区⇒マニュアル作成⇒全町実施）

鏡野町版共通支援シート

就学前後の情報連携マニュアル

| | 項目 | 年齢（歳 月） | カ | 目標・手立て（月 日） | 結果（月 日） | 支援日の様子 | 今後の方針 |
|--------|----------------------------|------------|---|----------------|------------|--------|-------|
| 言語 | 言語理解 言語表出 | | | | | | |
| | 要求、拒否、注意喚起、援助要求などの有無とその方法 | | | | | | |
| 社会性 | 対人意識 状況理解の手がかり 小集団活動 | | | | | | |
| 興味 | 遊びの状況 興味・関心 | | | | | | |
| ADL | 着脱・排泄・食事 生活リズム | | | | | | |
| 運動面 | 粗大・微細運動 注意力 | | | | | | |
| 気になる行動 | 行動面、情緒面 感覚面、その他 | | | | | | |
| 家族 | 子ども理解 子育て意識 家族の協力度 | | | | | | |
| その他 | 他機関との連携 診断・諸検査 | | | | | | |

鏡野町共通支援シートの取り扱い・記入方法について

平成28年12月
鏡野町トータルライフ支援プロジェクトチーム

| | |
|--------------------|---|
| 誰について？ | 園への巡回訪問で支援対象になった児（1度でも） * 園と心理士の2段階の見立て |
| どんな情報を？ | 鏡野町版 共通支援シート |
| いつどこで？ 誰 と 誰が？ | いつ：3月 どこで：各学校 誰と誰が：年長担任、小学校は状況に応じて複数人 どのように：共通支援シートを踏まえて情報引継ぎを行う。 |
| 移行後の確認 (モニタリング) | いつ：新年度5月 どこで：各学校 誰と誰が：年長時担任と小学校担任（状況に応じて複数人） どのように：年長時担任が小学校での活動の様子を見た後に話し合いを行う。町内で異動があった場合にも、年長時担任がモニタリングに出席できるよう町から通知。 |

鏡野町発達支援担当者連絡調整会議の協議

2018（平成30）年度

鏡野町共通支援シートを活用した就学前後の引継ぎ体制の効果検証

| 就学児 総数100名 | 通常学級(94) | 支援学級（3） | 支援学校(3) | 合計 | シート活用 | 活用割合 | 指導・支援計画作成 | 活用割合 |
|--------------------|----------|---------|---------|----|-------|------|-----------|------|
| 診断有 | 0 | 3 | 3 | 6 | 6 | 100% | 6 | 100% |
| 診断無（園等が必要性を感している児） | 25 | 0 | 0 | 25 | 25 | 100% | 22 | 88% |
| 計 | 25 | 3 | 3 | 31 | 31 | 100% | 28 | 90% |

鏡野町就学前後情報連携に関するアンケート調査の結果

良さ

<保・幼・こ>

- ① 限られた時間で、要点を伝えられた
- ② 園の引き継ぎの有効性が確認できた
- ③ 就学に向けて、指導の方向性がイメージできた

<小学校>

- ① 子どもの特徴や対応方法を具体的に知れた
- ② 保育園の過ごしを、1年生の授業の参考にできた

課題

<保・幼・こ>

- ① 園の様子や関わり方を直接見てほしい(課題だけでなく、頑張っているところも)
- ② 園と小学校の交流を増やしたい

<小学校>

- ① 園の普段の様子を参観しにいきたい
- ② 保・幼・こ、との交流を深めていくことが大切

★“支援記録の引き継ぎ”だけでなく、“交流機会を増やすこと”が大切

2019（令和元年度）

鏡野町保育園・こども園・幼稚園・小学校合同研修会～就学前後の切れ目のない支援のための引継ぎ～



3) 今後の課題

町内の乳幼児期～学童期 発達**支援体制**の成果を**評価できていない**。

現状は、発達支援コーディネーターが一人ひとりの記録を集約できている。

現時点で、町内の出生人口の20% × 7 年齢代 (2歳～9歳)

乳児期から学童期までの複数の個別記録を丁寧に振り返ることで、
どんな支援が有効で、反対に足りてなかったかを分析し、
支援体制の評価を行ってみたいと考えている。



そば焼酎 うったて



高清水トレイル



ウランガラス（妖精の森ガラス）



奥津温泉



七色桜（なないろがし）



姫とうがらし



ひらめ（あまご）

Kagamino Town

Okayama



ご清聴ありがとうございました



山田養蜂場 みつばち農園